

# ORION BEAN DOSER™

## 操作マニュアル

### 内容

Chapter 1: はじめに

Chapter 2: 始めましょう

Chapter 3: 各操作

Chapter 4: 各設定

Chapter 5: キャリブレーション

# Chapter 1: はじめに

このたびはOrion Bean Doser™ をお買い上げいただき誠にありがとうございます。Orionは速度、正確さ、そして豆の排出の制御性に置いて他に類をみない、プロフェッショナルなコーヒー豆のドーシングシステムをご提供しております。

## 1.1 特長

The Orion Bean Doser™ は生豆または焙煎豆を計量、ドーシングできるように設計されています。

### 重量ベースによる効率

ドーシングのスピードは重さによります。225gを12秒、20gを3秒で誤差範囲はほぼ2~3粒の豆の重さ程度で排出します。

### 自動モード

多くの容器へ豆を分ける場合、毎回ボタンを押さなくても自動で定量を排出します。

### ダイヤルイン設計

排出コントロールや各設定は全てダイヤルと表示画面にて操作できます。

### はかりモード

The Orion Bean Doser™ はまた産業用スケールと同様のスマートスケールとしてお使いいただけます。最大秤量は3000gです。

**スマートドーシング:** 経験した目標重量と実際の出力に基づいて、Orionは誤差範囲を自動的に調整し減少させます。

**マニュアル操作も可能:** ご自身のタイミングでドーシングをしたい場合は、手動による操作で最後の数粒にいたるまで管理できます。

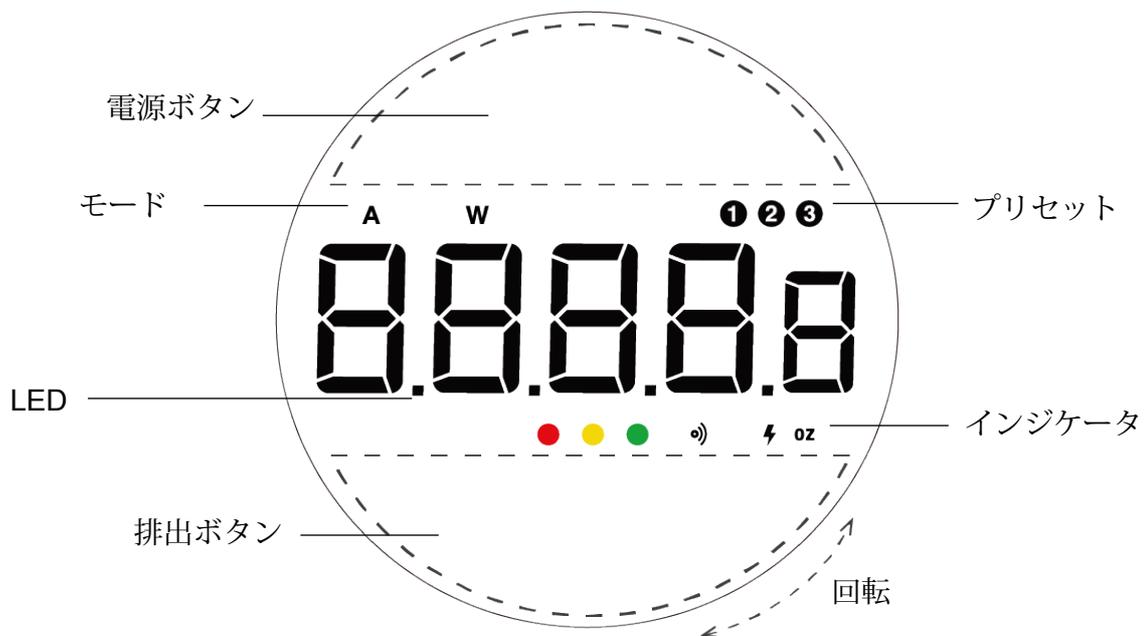
**ファームウェアのアップデート:** 他のAcaia製品と同様、Orionもファームウェア用アプリを通じて定期的なファームウェアのアップデートが可能です。

## 1.2 仕様

製品名	Acaia Orion Bean Doser
Model Number	AO001
仕様	33.5 cm x 20 cm x 36 cm
重量	3.24 kg
キャパシティ	6.6 lbs / 3000 g
最大秤量	3000 g

最小秤量	0.1 g
誤差範囲	~ 2 beans (+/- 0.5 g)
バッテリー	Li-Ion 18650 7.4V 2600mAh
計量単位	g, oz
表示	LED
接続	Bluetooth 4.0
インプット	12 Vdc, 2.0 A
保証期間	1 年

### 1.3 表示と各ボタン



### 1.4 LED 表示



#### グリーン- 豆の排出は順調

グリーンのライトが点滅しているときは、豆の排出が順調であることを示します。排出が完了すると、グリーンのライトはついたままになります。

#### イエロー- 排出量が多すぎ・少なすぎ

グリーンのライトが点滅しているときは、現在の排出量が +/- 0.5g (約2粒分)を超えていることを示します。少量足したい場合は下部の「排出ボタン」を短く押すと1または2粒排出されて、微調整ができます。

## レッド- システムエラー

レッドのライトが点滅しているときは、Orionのシステムエラーを示します。一度電源を切ってから再起動をお願いします。再起動してもまだレッドのライトがついているようであれば [support@acaia.co](mailto:support@acaia.co) までお手数ですがご連絡下さい。

- ⚡ 充電中
- 📶 Bluetooth経由で接続中
- oz 単位はオンス(oz)表示

次は「準備とインストール」のセクションでは、使用開始するための指示に従って下さい。Orionの多くの機能をよりよくお使いいただくために、指示や図をよくお読みになり、各操作は順序に従って行って下さい。

ご注意：このマニュアルにない不正な操作は思わぬケガや本体の損傷を招く恐れがあります。

## Chapter 2: 始めましょう

### 2.1 ご準備

1. 最初にご使用になる際は、洗剤をぬるま湯で薄めたものでホッパーを洗ってすすいだ後、よく乾かしてからお使いください。
2. ホッパーを本体に取り付ける際には、きちんと固定するまでホッパーを右回りに回して下さい。
3. 不用意に豆を排出してしまう場合に備え、豆を受ける容器を計量台の上に載せて下さい。
4. 電源コードを接続します。
5. 豆をホッパーに入れます。

### 2.2 はじめましょう

1. 電源ボタンを押して本体をオンにします。(Chapter 1.2も参照)
2. ダイアルを回しながら目標の豆の重さを調節し、電源ボタンを短く押して決定します。
3. 排出ボタンを押すと豆の排出が始まります。
4. 排出が完了したら、電源ボタンを押して次の排出に備えます。

## 2.2 一般的な使い方

Orionは4gから最大3,000gまで、誤差範囲はコーヒー豆約2粒ほど(~0.5g)で計量します。

Orionには2つのモード；マニュアルモードとオートモードがあります。モードを選ぶには、電源ボタンを長押しすると現在選択されているモードが表示されます。ダイヤルを回すとモードが交互に切り替わり、表示されます。

### マニュアルモード

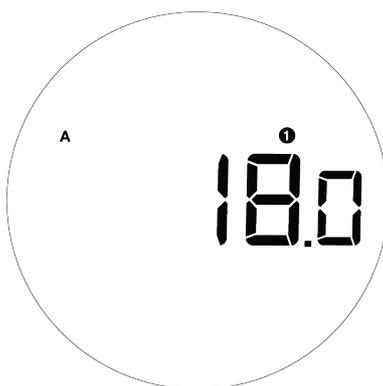
これは初期設定のモードです。

1. ダイヤルを回してプリセットを1つ選択します。電源ボタンを短く押してからダイヤルを回すと数値が入力できます。数値が決まったら電源ボタンを押すと決定できます。
2. 排出ボタンを押すと、Orionは豆の排出を始め、1で決定した数値まで誤差範囲 $\pm 0.5g$ で排出を続けます。（グリーンライトが点いている場合は、設定した重量に対して正確な排出が行われたことを示します）
3. 排出が終わった時に排出ボタンを短く押すと、微調整として追加で1～2粒排出されます。必要に応じて豆を加えることができます。
4. 電源ボタンを押すと次の排出に備えます。

マニュアルモード時の微調整機能について

Orionは微調整機能（Pulse function）という、各排出の最後に手動で数粒ずつ追加排出できる機能がついており、単純に排出ボタンを押せばできます。もし排出ボタンを一度押しても1粒も出てこなかった場合は、数回押して豆が排出されて欲しい重さに達するまで続けてください。

### オートモード



A という文字が小さくディスプレイ左上に出ている場合は、本体はオートモードであることを示します。オートモードでは、計量台に容器を置いたら自動的に豆の排出が行われます。ディスプレイに **Ready**が表示されると、容器を計量台に置けば設定した重さの分だけ豆を自動で排出する準備ができたことを示します。

1. 電源ボタンを長押ししてモード切り替え状態にしたらダイヤルを回してオートモードを選び、電源ボタンを押して決定します。
2. プリセットを選ぶ、またはプリセットの重さを決定します
3. 排出ボタンを押して数秒待つと [READY] が表示されます。
4. 最初の排出はもう一度排出ボタンを押すと始ります。
5. 容器が設定した重量の豆で満たされたら取り除き、再び [READY] が表示されるまで待ちます。
6. 別の容器を計量台の上に置くと今度は自動的に豆が先ほどと同じ重さだけ排出されます。
7. 違う重さが欲しい場合は電源ボタンを押して現在の自動排出セッションを終了します。

### オートモード時の微調整機能について

Orionは微調整機能 (Pulse function)はオートモードでも可能です。排出ボタンを押せば1～2粒が出てきます。もし排出ボタンを一度押しても1粒も出てこなかった場合は、数回押して豆が排出されて欲しい重さに達するまで、続けてください。

### はかりモード



W という文字が小さくディスプレイ左上に出ている場合は、本体ははかりモードであることを示します。はかりモードでは、Orionをスマートスケールとしてお使いいただけます。これは産業用スケールと同様に機能します。はかりモードに切り替えるには電源ボタンを長押しし、[SCALE] が出るまでダイヤルを回したのち、電源ボタンを押して決定します。

はかりモードでは計量台に置いた物体の重さがディスプレイに表示されます。

また電源ボタンと排出ボタンがそれぞれ「ゼロ」と「風袋」として機能します。

## Chapter 3: 各操作

### 3.1 基本操作

動作	操作
電源を入れる	電源ボタンを短く押す
電源を切る	電源ボタンを二度押しする
プリセットの切り替え	ダイヤルを回す
プリセットの重さを設定	電源ボタンを短く押してダイヤルを回し、電源または排出ボタンを短く押す
モードの切り替え	電源ボタンを長押ししてダイヤルを回し、電源または排出ボタンを短く押す
排出開始	排出ボタンを短く押す
モードのリセット	電源ボタンを短く押す
ホッパーを空にする	排出ボタンを長押し
ホッパーを空にするのを中止	排出ボタンを短く押す

#### 3.1.1 プリセットの重さを設定する

動作	操作
プリセット設定画面にする	電源ボタンを短く押す
数値（重さ）を変える	ダイヤルを回す
プリセットの重さを保存	電源または排出ボタンを短く押す

プリセットは3つまで保存できます。例えば、プリセット1は20.0g、プリセット2は30.0g、プリセット3は225.0gというように、豆や器具に応じて違う重さの目標値をセットできます。プリセットの数値は上記の操作で調節できます。

### 3.1.2 モードの切り替え

動作	操作
モード設定画面にする	電源ボタンを長押しする
モードの切り替え	ダイヤルを回す
選んだモードを設定	電源または排出ボタンを短く押す

Orionには2つのモード；マニュアルモードとオートモードがあります。モードの切り替えは上記の操作で調節できます。

### 3.1.3 ホッパーを空にする

容器を計量台に置き、重さが検出されると排出が始まります。

動作	操作
ホッパーを空にする	排出ボタンを長押しする
空にするのをやめる	排出ボタンを短く押す
プリセットに戻る	電源ボタンを短く押す

ホッパーを空にするには排出ボタンを長押しします。この操作をすると、次に排出ボタンをもう一度押すまで、Orionはずっと豆を排出し続けます。その際、あらかじめ計量台の上にはホッパーの豆を全部受けられるような大きな容器をご用意ください。

ホッパーを空にしている時には E という文字が小さくディスプレイ左上に表示されます。

## 3.2 各モード

動作	操作
排出スタート	排出ボタンを短く押す
排出ストップ	排出ボタンを短く押す
微調整する	排出ボタンを短く押す（出るまで数度押す）
モードのリセット	電源ボタンを短く押す

マニュアルモードでは、ご使用の都合に応じてプリセットを選んで豆を輩出できます。各排出が終わっても、排出ボタンを短く押すと手動で数粒ずつ追加排出できます。重さの微調整の際にお使いください。

### 3.2.2 オートモード

動作	操作
Ready 状態にする	排出ボタンを短く押す
排出スタート	排出ボタンを短く押す
排出ストップ	排出ボタンを短く押す
微調整する	排出ボタンを短く押す（出るまで数度押す）
モードのリセット	電源ボタンを短く押す

オートモードでは、計量台に容器を置いたら自動的に豆の排出が行われます。A という文字が小さくディスプレイ左上に出ている場合は、本体はオートモードであることを示します。

排出が終わっても、排出ボタンを短く押すと手動で数粒ずつ追加排出できます。重さの微調整でお使いください。オートモードが作動している時は [READY] という表示が出ます。[READY] 状態をやめるには電源ボタンを短く押すと、プリセットを選ぶ画面に戻ります。

### 3.2.3 はかりモード

動作	操作
風袋	排出ボタンを短く押す
モードのリセット/Zero	電源ボタンを短く押す

はかりモードでは、3000gまで計量できる高精度の産業用スケールとして機能します。排出ボタンは風袋ボタンになります。W という文字が小さくディスプレイ左上に出ている場合は、本体ははかりモードであることを示します。

## Chapter 4: 各設定

### 4.1 速度設定

動作	操作
セットメニュー画面にする	電源ボタンを長押し、SEt が出るまでダイヤルを回す。排出ボタンで設定画面になります。
速度設定画面にする	Speed が表示されたら排出ボタンを押してスピードのメニュー画面へ
速度オプションの表示	ダイヤルを回すとオプションが表示。(オプションは3つ: Precision, Fast, and Green.) 排出ボタンを短く押して決定

スピードの調節は計量の正確さを増すか、または排出のスピードを増すかのどちらかで行います。下記の3つのスピード設定が可能です。

PrEC — **Precision**: 通常のスปีド、高度な正確さ (初期設定)

FASt — **Fast**: 速度は速い、普通の正確さ(227 g 排出に12 秒); 100g以上の排出が多い場合で推奨

GrEEEn — **Green Bean**: 生豆や浅いローストの豆の排出が多い場合に推奨

### 4.2 ゼロ・トラッキング設定

動作	操作
設定メニュー画面にする	電源ボタンを長押し、SEt が出るまでダイヤルを回す。排出ボタンで設定画面になります。
トレース設定画面にする	trAcE が表示されたら 排出ボタンを短く押してトレースメニューへ
トレースオプションの表示	ダイヤルを回すとオプションが表示 (オプションは6つ: 0.5d, 1d, 2d (初期設定), 3d, 4d, 5dとオフ) 排出ボタンを短く押して決定

### 4.3 ボタン音設定

動作	操作
設定メニュー画面にする	電源ボタンを長押ししてダイヤルを SEt が表示されるまで回す。設定のメニュー画面にするには、排出ボタンを短く押す
ボタン音設定画面にする	bEEP が表示されたら 排出ボタンを短く押して ボタン音メニューへ
ボタン音オプションの表示	ダイヤルを回すとオプションが表示 (OnまたはOff) 排出ボタンを短く押して決定

## 4.4 計量単位設定

動作	操作
設定メニュー画面にする	電源ボタンを長押し、SEt が出るまでダイヤルを回す。排出ボタンで設定画面になります。
単位設定画面にする	Unitが表示されたら 排出ボタンを短く押して 単位メニューへ
単位オプションの表示	ダイヤルを回すと単位のオプションが表示。(g (グラム) または oZ (オンス). 排出ボタンを短く押して決定

## 4.5 ファームウェアバージョンの確認

動作	操作
設定メニュー画面にする	電源ボタンを長押し、SEt が出るまでダイヤルを回す。排出ボタンで設定画面になります。
Enter Unit Settings	About が表示されたら 排出ボタンを短く押すとファームウェアのバージョンが表示されます

# Chapter 5: キャリブレーション

## 5.1 Orionのキャリブレーション

はかりモードの時に排出のボタンを連打するとキャリブレーションモードになります。500gも分銅を計量台にのせると、キャリブレーションがスタートします。

1. はかりモードで計量単位をg (グラム) に設定し、排出ボタンを素早く連打すると [CAL] がディスプレイに表示されその後で [500] と表示されます。
2. 500gのキャリブレーション用分銅を計量台にのせて、しばらくすると自動的にキャリブレーションが実行されます。
3. ディスプレイに と表示されたらキャリブレーションは完了です。
4. キャリブレーション用分銅を取り除きます。  
\* ご注意: Orionのキャリブレーション用分銅には 100 g, 1000 g, 1500 g, 2000 g, または 3000 g のいずれかを使用することもできます。

Copyright

The operation manual is protected by copyright. All rights reserved. No part of the operation manual may be reproduced, processed, duplicated or published in any form by photocopying, microfilming, reprinting or any other method, in particular electronic means, without the written agreement of Acaia.

© Acaia, California, 2018.